

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 一宮市立 いずみ学園		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2024年 8月 1日		2025年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・同事業所内に「計画相談」「療育相談」「体験療育」などの部門があるので、支援を実施する際の連携がとりやすい。	・切れ目のない円滑な支援が提供できるよう、各相談員を起点として保育所等訪問支援を開始すると共に、終了時には必ず各相談員の面談に繋げて事後フォローができるようにしている。 ・こどもの姿、取り組んでいる支援の状況などを、支援員と各相談員とでこまめに情報共有し、支援方向性について意見交換し整理しながら進めていくようにしている。	・今後も引き続き、各部門の風通しを良くすることに努め、協力しながら利用者や保護者の悩みや困り感に迅速に対応できる体制作りをしていく。
2	・同事業所内に公認心理師や作業療法士などの専門職が在籍しており、専門的な見立ての助言を受けやすい。	・見立てに迷った時には、その時に専門職の助言を受け、支援に役立てるようにしている。 ・必要に応じて、訪問時に専門職が同行し、的確にこどもの姿を捉えて支援を進められるようにしている。また、報告書を通して施設先や保護者に専門的な見立てを伝え、必要に応じて、有効な教材教具などを紹介するようにしている。	・今後も専門職の協力を得ながら、利用者やその保護者にとって最善の利益となることを常に念頭に置き、支援を進めていく。
3	・常勤の職員が専属で保育所等訪問支援員として所属し、稼働している。	・支援員間で情報の共有や相談などの時間を合わせ、複数の目で支援の方向性を確認すると共に、必要に応じて訪問時に同行できる体制を取っている。	・支援員の体制なども含め、保育所等訪問支援に必要なタイミングで利用してもらうために、さらに充実を図るよう事業所全体で検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・公立のため年度ごとに職員の異動があり、担当支援員が異動になった場合、円滑な支援の提供に支障をきたすことがある。	・基本的な保護者とのやり取りや訪問先との連携など、窓口は担当支援員が担っているため、担当支援員が異動になった場合、ステージが変わる重要なポイントで支援の繋ぎや保護者や訪問先との関係作りから始めなければならない。支援の経過は共有しているが、細かな部分まで共有し、同じように支援をすることは難しいため。	・支援員は、経験を積む中で、支援力を向上させ、保護者や支援先のニーズに合わせた適切な支援を提供し、相談等に応じられスキルを身につける必要がある。ステージが変わる重要な時に、信頼している職員の異動は、保護者や訪問先に不安を与えるため、事業所内で細部にわたって情報を共有するとともに、職員の育成に努めていく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター宮市立いずみ学園
------	--------------------

公表日 2025年 3月 26日

利用児童数 10 (2025年3月1日 時点) 回収数10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	0	0	5	・教具教材が分からない。	・支援計画了承や見直しの面談時に、教具教材を確認する機会を設けるようにする。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	0	0	0	・静かな個室で面談できた	・今後も支援を継続する。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10	0	0	0		・今後も保護者の意向や子どもの姿を踏まえ、柔軟に対応する。
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	9	0	0	1		・今後も支援課題に応じて多職種で対応する。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0	・児の性格など理解してもらえた	・今後も支援を継続する。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	10	0	0	0	・担任の質問なども教えてもらえてよかった	・今後も保護者に丁寧に施設側の意向を伝えていく。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	1		・契約時にガイドラインについて周知し、内容を踏まえながら支援計画を立案していることを伝えるようにする。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		・今後も保護者に分かりやすい言葉を用いて説明していく。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		・今後も保護者に分かるよう具体的に知らせよう努めていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	1	0	3		・現状通り研修等について積極的に周知するようにする。
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		・今後も支援を継続し、定期外にも必要に応じて対応していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	0	1		・相談員や支援員が面談にいつでも対応する旨を、支援開始時に伝えるようにする。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も保護者に合わせた方法で説明し、意思疎通を図る支援を継続する。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9	1	0	0		・今後も訪問先と話し合ったことを保護者にも伝え共有していく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	3	0	4	・HPを見ないので分からない	・保育所等訪問支援を取り上げて情報発信していないが、検討していく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	3	0	1		・契約時にその旨の説明を徹底していく。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	2	0	1		・周知の機会を検討する。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10	0	0	0		・今後も支援を継続する。
	28	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	・児の成長や課題が感じられてよかった ・訪問支援を利用してよかった	・今後も保護者、訪問先のニーズに応えられるような支援を継続する。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 3月 26日

児童発達支援センター宮市立いずみ学園

利用児童数

10 (2025年3月1日 時点)

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10	0	0	・細かく援助の仕方などをその都度教えて下さったので、自分自身の学びになり、すぐに実践に取り入れることができた。 ・取り入れにくいものも相談に乗ってもらえた。 ・児の姿に合った助言で絵カード、手順表などを取り入れたり、準備したりできた。	・今後も訪問先の支援者に分かりやすく伝え、具体的な支援を提供していく。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	0	0	・借りた絵本を読み、対象児の困り感などが分かり、見方を変えて保育できるようになった。 ・満足している。 ・専門的な支援や見解を教えてもらい勉強になった。	・今後も、より知識や技術を深めていく。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	0	0	・困り事や悩みを相談した際に、どうしたらよいのかなどの案をいくつか教えて下さり、実践することができた。 ・不明な事、迷う事は持ち帰って後日返答頂けありがたかった。 ・疑問や困り事などの質問に対して、今の対象児の姿に合ったアドバイスをもらった。	・今後も支援を迅速、適切に対応していく。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	1	0	・児の課題や適切な援助を丁寧に考える機会となりよかった。悩んでいたことが減り、良い方向に考えられるようになった。 ・児の課題からクラス全体の課題にも助言をもらえ、成長を感じられた。 ・児の特性の難しさ故に保護者理解を得にくかった。(特に父親)	・保育所等訪問支援の期間内に解決できない支援目標以外の課題に関しては、療育相談担当に引き継ぐようにしていく。
5	事業所からの支援に満足していますか。	10	0	0	・とても満足している。今後も依頼したい。 ・専門的な支援により知識を増やせた。 ・児の成長で職員も喜び、よい関係が築けた。	・今後も支援を継続する。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・急な日時の変更も快く受けてもらい助かった。児の支援にとっても勉強になった。 ・児への対応に自信が持てずにいたが、言動を肯定し更に良くなるよう助言を受けたことで、すぐに保育に取り入れることができた。また、実践することで対象児の変化が見られ、更に支援を頑張ろうと思った。 ・支援の具体的な方法や言葉の掛け方をすぐに実践できた。また、別の場面でも取り入れてみたことで、本児が過ごしやすくなったと感じる。 ・保育士の悩みを聞いてもらったり、気になる他児のことも相談できたりし、保育の質の向上に繋がると感じた。 ・保育時間後に話し合いの機会がありよかった。 ・専門的な助言で関わりを改善し、直接支援を見たことで統一した支援を取り組めた。家庭との連携で意識や関わり方が変わった。					・貴重なご意見を基に、今後も保護者の意向、子どもの願いを踏まえ、支援施設と協力しながら支援にあたれるよう、保育所等訪問支援の専門性を高め、資質向上に努めながら職務にあたりたい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 一宮市立 いずみ学園					公表日	2025年 3月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	・訪問先に教具教材の提案をする際、イメージしてもらいやすいよう写真や見本などを持参し、見せたり使用してもらったりしている。 ・今後あるとよいと思う物はあるので、徐々に購入したい。	・足りないと思われる教材について、適宜、準備を進めていく。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	・利用者の申し込みのタイミングによっては待機期間があり、希望するタイミングで支援に入ることができないケースがある。 ・複数の視点での支援のためにも、もう一人職員を増やせるとよい。	・開始までの期間は、同施設内の療育相談や巡回訪問支援でフォローしていく。 ・職員の配置数については、随時検討し整備を進めていく。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・契約件数、実施状況、支援内容など、具体的な数字を設定し、支援を実行している。定期的に振り返り、改善が必要な場合は、職員間で話し合っている。 ・必要に応じて意見を出し合い、支援員間、児童発達支援管理責任者、相談員などで話し合い改善に努めている。	・今後も継続する。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・支援に対する評価を支援員間で共通理解し、改善できる部分には取り組むようにしている。 ・最終面談にて、評価表とは別に直接意見を聞く機会も設けている。事業所内を超えて検討が必要な意見に対しては、対応しきれていない。	・保育所等訪問支援を実施する事業所でも、課題について共通理解できる場を設けることを検討する。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・機会を設けることはしていないが、気づいたことは、常時意見をあげやすい雰囲気があり、その都度改善を検討している。 ・職務の内容や疑問がある場合は、その都度話し合い、業務改善に努めている。	・今後も継続する。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	・外部評価による第三者評価は受けていないが、今後、導入を検討していく。	・今後、導入を検討していく。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・外部研修や事業所内の研修に参加できる機会が多い。積極的に参加し、資質の向上に努めている。 ・施設内研修は定期的に設けており、外部研修にも積極的に参加できるよう努めている。参加しなかった研修については、伝講にて勉強の機会としている。	・今後も支援力向上のために継続する。		
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	・事前訪問、アセスメント共に、2名以上で実施することを徹底し、複数の目で客観的に姿を把握するようにしている。 ・児の環境や支援を的確に観察しながら、保護者ニーズ、児の思いなどを汲みながら計画を作成している。	・今後も継続する。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者と訪問支援員全員で、児の計画に対し話し合う時間を設け、保護者と訪問先の意向を踏まえて、多面的かつ客観的に支援を検討できるようにしている。	・今後も継続する。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	・アセスメントにて、園や園長、担任の方針を確認し、姿や課題を丁寧に聞き取っている。児の姿を考慮しつつも園の方針に沿った現実的な支援計画になるように努めている。 ・計画が出来上がった際には、訪問先に確認を依頼し、意見を聞いてから再度検討するようにしている。	・今後も訪問先との連携に重きを置き、移行を汲みながら支援を継続する。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	・児童発達支援管理責任者と担当支援員、他の支援員と共に、児の姿、保護者のニーズ、施設先の願いを確認し合いながら、児への具体的な支援の提供を検討している。 ・概ね実施できていると感じるが、多職種で支援を行う際の支援計画の共有は曖昧な部分があるので、今後検討していく必要がある。	・支援に係る職員が、各自必要に応じて支援計画や実施状況を確認できるようにしておく。		

適切な支援の提供	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・共通化したアセスメント用紙を使用し、訪問先に記入を依頼している。また、訪問時に観察したお子さんの姿も参考にした上で、アセスメントの時間を設け、詳細の姿を確認している。 ・標準化されたツールを用いているかは把握できていない。	・今後も継続する。 ・使用しているツールを含めて、実施状況を支援員間で再確認する。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・ガイドラインの内容を確認しながら、訪問先に伝わりやすいよう、できるだけ具体的に分かりやすい言葉を用いて支援内容を記載するようにしている。	・今後も継続する。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・支援開始前に概ねの方向性の共通理解を図っている。その日の支援に対しては、特別な教材や資料を持参する場合や、イレギュラーな場面を支援する場合のみ、打ち合わせしている。	・今後も継続する。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・訪問後に、支援員や相談員と姿を話し合い、今後の課題を整理している。	・今後も継続する。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0	・方針や理念などの把握に努め、支援が訪問先の負担になりすぎないように配慮している。 ・訪問先の方針により取り組める支援が異なるため、先方を尊重しながら支援している。	・今後も継続する。
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0	・モニタリング中には必ずメモを取り、それを基に記録を作成している。毎回、支援を検証し、今後の方針までを記載するように努めている。 ・分かりやすい客観的な記録が個人的な課題である。	・今後も継続する。 ・記録の作成について、より分かりやすく端的にまとめられるように努めると共に、様式についても必要に応じて検討していく。
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・中間で必ず見直しを行い、支援員間、児発管で話し合う。また、訪問先や保護者の意見を聞き取っている。 ・概ね3か月ごとに、計画内容の達成度などの振り返りを行い、必要に応じて見直しをしている。それを、訪問先や保護者に説明し承認を得ている。	・今後も継続する。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・基本的に、会議には直接訪問支援をしている担当支援員が出席し、必要に応じて児童発達支援管理責任者や担当相談員も連携して同行している。 ・会議には、再度、支援員間で児の状況や支援を整理してから参加するようにしている。	・今後も継続する。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・保健センター、園や学校、福祉サービスの事業所、相談支援事業所などの会議の場で保育所等訪問支援について周知し、理解と協力をお願いしている。	・今後も関係機関との連携を深められるよう積極的に関わりを持つようにしていく。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・就園・就学の移行先に、支援の目的や今までの取り組みの様子を具体的に伝え、支援をつなぐために情報共有を行っている。 ・計画やこれまでの経緯などの資料を持参し、円滑な移行に役立ててもらえるようにしているが、移行先の施設が、支援そのものの理解が不十分な場合があるため、丁寧な説明をする必要があると感じる。	・今後も継続していくと共に、保育所等訪問支援の周知、理解を進めていく。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	・担当相談員を介して、医療機関から情報を得たり、発達検査の結果などを支援の参考にしたりにしている。また、モニタリングに専門職に同行を依頼し、助言を受けるようにしている。 ・心理職やリハビリ職、医療機関などの助言を得ている。また、障害特性の理解や支援などに関する外部研修にも参加している。	・助言を受けられる専門家との繋がりを深めると共に、積極的に研修に参加していく。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が自立支援協議会に参画している。	・今後も継続する。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・訪問する度に保護者に児の姿や成長、課題について伝えている。 ・毎回のモニタリングの報告時に、具体的な姿を共有すると共に、家庭での様子も聞き取り、課題を共有するようにしている。	・今後も継続する。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・事業所内で家族向けの研修や、ペアレントプログラムなどを開催している。また、親子療育の家の案内など、必要な保護者には相談員を介して情報提供している。	・今後も継続する。

保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に丁寧に説明し、不明な点がないかを確認している。	・今後も継続する。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が、アセスメント時にパンフレットなどを持参し、事業の趣旨や内容、目的などについて具体的に説明を行っている。	・今後もより丁寧な説明を心掛けていく。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・保護者からのアセスメント時に、保護者の意向だけでなく、こどもの権利や利益も考慮しながら、概ねの支援の方向性まで対面で確認するようにしている。 ・保護者の意向を汲みながらも、こどもの姿や思いを尊重した支援を行うことを保護者と確認している。	・こどもの計画は親の意向が強く反映されがちだが、「こどもの思い」に着目して計画を作成していく。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0	・支援の内容、具体的な支援の方向性や手立ての説明を行い、同意を得るようにしている。 ・面談にて説明する機会を設け、その場で承認を得るようにしている。	・今後も継続する。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・毎回のモニタリングの報告にて、保護者の思いや悩みなどを聞く機会を設けている。 ・状況に応じて、療育相談につなげたり家庭訪問を実施したりしている。	・今後も丁寧な対応を継続する。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	・個人情報保護の観点から、積極的に交流する機会は設けていない。 ・当事業所では開催していないため、他機関の交流の場を紹介している。当事業所でも検討していく必要がある。	・開催については、今後事業所内で検討していく。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・担当相談員と連携しながら、利用者のニーズに合わせて柔軟に対応するように努めている。 ・予め、面談については保護者の希望に応じる旨を伝え、随時対応している。	・今後も継続する。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	5	・通信機器を活用した発信は行っていないが、現在は、必要性は感じない。	・必要性が出てきた場合、検討していく。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・十分留意している。 ・支援に必要だと思われることのみ、情報の交換をする旨を保護者に伝え、同意を得ている。	・今後も継続する。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・相手の反応に合わせて、必要に応じて視覚的な情報を併用しながら伝えるようにしている。 ・保護者にニーズに合わせて、電話報告や書面報告にするなど、柔軟に対応するようにしている。	・今後も継続する。
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	・保育所等訪問支援の中で、対応できる場合は助言や支援を行い、必要に応じて、巡回訪問や療育相談の利用を勧めている。 ・必要に応じて、電話連絡をしたり、話し合いの時間を設けるようにしている。	・相談支援体制を整え、具体的な支援の提供をしていく。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	・基本は訪問時に行うようにしているが、状況によって、改めて電話や面談などの時間を設けることもある。 ・訪問先の事情により、時間がとりにくいケースがあるため、その都度、方法を検討していく必要がある。	・今後も継続する。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	・毎回のモニタリング後数日以内に、保護者に報告し共有するようにしている。	・今後も継続する。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・十分留意している。 ・支援に必要だと思われることのみ、情報の交換をする旨を訪問先に伝え、同意を得ている。	・今後も継続する。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	・訪問先が快く支援を受けられるよう、良好な関係作りを行うことを意識し、求められる助言ができるよう努めている。 ・訪問先との関係作りが基本なので、相談には丁寧に応じ、具体的に助言し、訪問先に無理のない支援を提示するようにしている。 ・専門的な知識や視野を広げられるよう、今後も積極的に学んでいくようにしたい。	・今後も専門的立場の職員の意見を取り入れながら継続していく。

非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・全てのマニュアルを策定し、職員間で周知し、防犯などの訓練を実施している。 ・マニュアルについては契約時に家族に伝えているが、伝えきれていない部分もある。	・今後も継続する。 ・職員や家族への周知を、再度徹底していく。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を作成し、役割について確認している。 ・安全管理について知る機会を持ち、支援を行っている。	・今後も継続する。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・事案発生時には、事業所内で共有し、再発防止策を検討するようにしている。	・今後も継続する。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修に参加し、適切な対応を確認している。 ・常に虐待に対する意識をもって支援に臨めるようにしている。	・今後も継続する。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・契約時に身体拘束に関して説明をすると共に、同意を得るようにしている。 ・支援でやむを得ず身体拘束を行うことが予測される時は、必ず支援計画に具体的に記入し、訪問先や保護者に説明するようにしている。	・今後も継続する。